

SMC金融・経済マーケットレポート

Reporter Your Financial Brain SMC 豊島 健治

手元資金と借入残高 (変化した財務行動)

日本の企業は今空前のお金(キャッシュ=現預金)を貯め込んでいると云われています。資金繰りに苦しんでいる企業からすれば、何処にそんなお金があるのかと嘆息したくなるような話ですが、そう報道されています。そこでそれが本当かどうか側面調査してみました。当たって見たのは、日本銀行が公表している資金循環統計と財務省が公表している法人企業統計です。いずれも四半期ベースで公表していますが、日銀データは98年からの公表でしたのでそれに合わせ98年から3年毎の民間非金融法人(銀行保険等金融機関を除く一般民間法人)の保有現預金額を下に表にしてみました。(単位:兆円)

	資金循環統計	法人企業統計
1998年6月	166.0	120.2
2001年6月	170.7	125.2
2004年6月	184.2	128.3
2007年6月	192.6	145.2
2010年6月	200.4	138.2
2010-1998	34.4	18.0

上表の通り、<空前>かどうかは別として確かに過去最高水準のお金を保有しているようです(日銀と財務省では数値が大きく違っていますが、統計目的の違いから生ずるものだと思われ、全ての金融資産を把握する立場にいる日銀データが実体に近いと思われる)。この12年間で34兆円ほど手元資金を増やしています。

一方、金融債務(借入金)はといえば、同じ日銀資金循環統計によれば、2000年には約500兆円あったものが今年6月には332兆円に減少しています。ざっくり170兆円も減らしていることとなります。借入を減らし手元資金を増やしてきた、これがバブル崩壊以降、日本企業が取ってきた基本的財務行動と云うことができます。貴社ではどうだったでしょうか。多分、似たような財務行動をとってきたものと思います。しかし、最近の政府トップの発言はいただけません。

先々月、菅首相が参院予算委員会で、企業の「内部留保をもっと投資なり労働分配に回すべきだ」と述べたと報道されました。これを読んだ時「やはりこんな認識か」と正直思いました。この発言の裏には、「内部留保=現預金」といった短絡思

考があります。経営者であればそれが間違いであることは誰でも知っています。厚い内部留保が豊富な手元資金となっている企業も当然ありますが、そうでない企業もある訳で、それは、借入金が多い会社は手元資金が少ないという認識が誤りであると同じレベルの話です。勿論、借入金の過小は現預金の過小に重なりません。借入と現預金を両立している企業だってある訳です。多分、首相の発言の裏には、企業が過去最高レベルのお金を貯め込んでいるという認識があったのではないかと思います。しかし、残念ながら、「...すべき」論に乗るほど民間企業の経営者は甘くないと思います。民間はそれよりも政府も行政ももっと小さくすべきだと考えているのではないのでしょうか。

話はずれましたが、前述のように借入を減らし預金を増やした日本企業は、この20年で財務構造をすっかり変えたのでしょうか。多分、かなり変わったと推測されます。それをデータで示してみようと考え、先の法人企業統計からこの14年の主要経営指標の変化を下表にまとめてみました。(対象は資本金1千万円以上1億円未満の企業で、業種は全業種。金額単位:兆円)

	1995年	2009年	増減
売上高	568.2	519.8	48.4
営業利益	11.6	8.2	3.4
総資産	494.1	465.2	28.9
自己資本比率	13.4%	27.8%	14.4%
手元流動性	12.7%	16.8%	4.1%
債務償還年数	11.4年	10.5年	0.9年
金融債務比率	52%	44%	8%

如何でしょうか。大分財務行動を変えていることが伺えます。売上、利益が減少する中、資産を圧縮しながら少ない利益を内部留保に廻している姿が出ています。自己資本比率が大きく上昇しているのはその結果と見ることができます。しかし一方、総資産に占める長短借入金(金融債務)は8%低下したとはいえ未だ44%となっています。銀行への依存度は低下していないというのが現実です。債務償還年数(償却前営業利益で金融債務を何年で返済できるかを表す)も10年以上となっています。金融債務が重荷になっている姿が容易に伺えます。

こうしてみると日本の中小企業の財務改善は未だ道半ばにあります。企業のカネ余りは一部に偏っているのが実体なのかもしれません。

発信日: 2010.12.4 第624号

《複製・転載等にご連絡下さい》

TEL. 0438-53-6092 FAX. 0438-53-6096

URL: http://www.hi-ho.ne.jp/smc_toyo/ Email: smc_toyo@hi-ho.ne.jp